

91 オオタカ

(タカ目)

兵庫県ランク:B

Accipiter gentilis

繁殖個体群:B 越冬個体群:C 通過個体群:調

◎国内希少野生動植物種

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

北海道、本州では留鳥、四国、九州、沖縄では冬鳥。兵庫県では周年見られる。平地から山地の林に生息する。丘陵から山地の、主にマツ林で繁殖し、秋から冬には平地の農耕地や河畔林、都市林にも飛来する。林縁部や水際で小型-中型の鳥類を捕食する。一時期、減少したが、最近はやや個体数が回復していると思われる。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、(加東市)、たつの市、猪名川町、(多可町)、稲美町、福崎町、(神河町)、太子町、佐用町、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
かつては県内で広く見られ、繁殖していたが、開発の時代に多くの繁殖地が失われ、個体数が急減した。近年、新たに都市緑地の自然再生林などでも繁殖する個体が現れ、個体数はやや回復していると考えられる。

保護上の留意点

営巣地の保全および営巣地周辺への入山規制が必要。



写真提供:三谷康則



写真提供:但馬野鳥の会